

## 教育ミーティングの実施について

自治協議会委員や中学校区内の小・中学校の教職員、PTA、コミュニティ協議会などと、区担当教育委員との懇談・意見交換を通して、全市的な教育情報などを伝えるとともに、地域における教育の実状や区の特長などを把握し市全体の教育行政に反映する。

### 区担当教育委員

北区・秋葉区

東区・西蒲区

中央区・南区

江南区・西区

沢野委員・佐藤委員 織田委員・眞谷委員 吉村委員・藤田委員 齋藤委員・伊藤委員

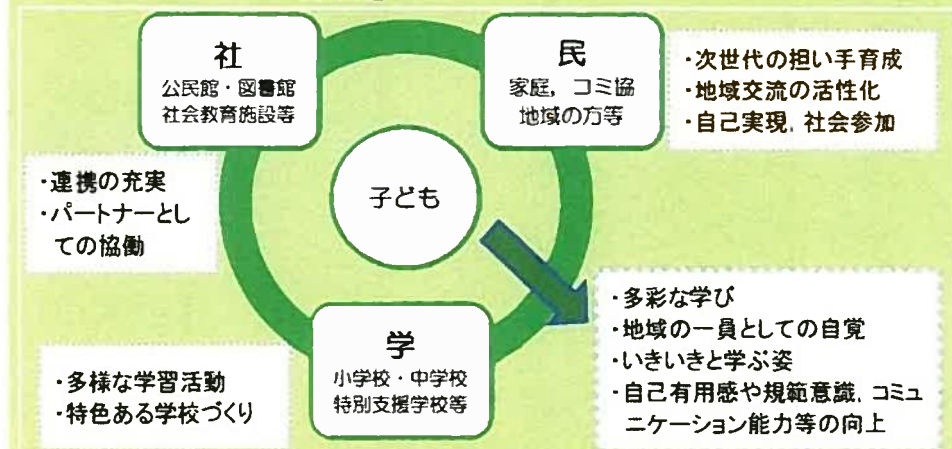
### 区教育ミーティング

- 実施期日 年2回（1回目：7～9月，2回目：10月～1月）  
自治協議会会議の開催にあわせて同日での開催
- 対象 自治協議会委員  
※1回目は全体会で実施。2回目は部会中心とするが、各区の希望に合わせ実施
- 懇談テーマ 自治協の意見を集約し、教育委員会が選定
- 資料の提供
  - ・全市的な教育情報の提供
  - ・事前の質問受付け，回答配布
- 当日の進行
  - ・教育委員と参加者の意見交換・懇談
  - ・開催時間は，1時間30分程度
  - ・原則公開

区の実情・課題を共有し、連携を強化します。地域では、共有した情報をそれぞれの地域活動に活かします。

### 中学校区教育ミーティング

- 実施期日 6月～12月
- 対象 中学校区内の小・中学校の教員，PTA，  
コミュニティ協議会，地域教育コーディネーター，  
公民館



中学校区内の子どもを地域全体が連携し育てる体制づくりにつなげます。

教育委員会（教育長・教育委員8名）  
情報の共有と市の教育に係る方針決定

担当  
教育委員会教育総務課総務係  
電話 025-226-3149

# 参 考

## 中学校区教育ミーティングについて

### 1 目的

各中学校区の取組について、コミュニティ協議会、保護者、地域教育コーディネーター等の意見交換を通して、中学校区内の地域と学校の連携を深め、取組の向上・発展を図る。

教育委員会は中学校区教育ミーティングを通して、中学校区内における教育の実情や取組などを把握し、市全体の教育行政に反映する。

### 2 実施内容

- ・中学校の学番順に実施し、2年で一巡する。
- ・初回は中学校、二巡目以降は小学校など、会場は持ち回りとする。
- (1) 対象 学校関係（校長等教職員、PTA、地域教育コーディネーター）  
コミュニティ協議会など地域の代表  
教育委員会（区担当教育委員、事務局、公民館）
- (2) 時間 1時間30分（+学校見学15～20分程度）
- (3) 時期 6月～12月（夏季休業中含む）
- (4) テーマ 「地域と学校の連携について」（全校一巡までは同テーマ）
- (5) 年度別実施予定（中学校区）

	26年度 (モデル実施)	27年度	28年度
北区	松浜中学校	南浜中学校 濁川中学校 葛塚中学校 木崎中学校	岡方中学校 早通中学校 光晴中学校
東区	山の下中学校	東新潟中学校 大形中学校 石山中学校 藤見中学校	木戸中学校 東石山中学校 下山中学校
中央区	寄居中学校	関屋中学校 鳥屋野中学校 白新中学校 宮浦中学校	新潟柳都中学校 上山中学校 山潟中学校
江南区	大江山中学校	曾野木中学校 両川中学校	横越中学校 亀田中学校 亀田西中学校
秋葉区	金津中学校	新津第一中学校 新津第二中学校	新津第五中学校 小合中学校 小須戸中学校
南区	白根第一中学校	白南中学校 臼井中学校	白根北中学校 味方中学校 月潟中学校
西区	小針中学校	坂井輪中学校 内野中学校 赤塚中学校 中野小屋中学校	五十嵐中学校 小新中学校 黒崎中学校
西蒲区	岩室中学校	西川中学校 中之口中学校	潟東中学校 巻東中学校 巻西中学校

南区自治協議会資料

# 平成 27 年度 新潟市の教育

新潟市教育委員会

## 目 次

1	平成27年度 教育委員会が進める事業	・・・ 1
2	学校適正配置（教育総務課）	・・・ 3
3	奨学金制度（学務課）	・・・ 8
4	健康づくり・食育の推進（保健給食課）	・・・ 10
5	地域に開かれた教育の推進（地域教育推進課）	・・・ 12
6	公民館の重点的な取組（中央公民館）	・・・ 14
7	図書館の重点的な取組（中央図書館）	・・・ 16

# 1 平成27年度 教育委員会が進める事業

平成27年度の新潟市教育委員会の新規事業とその他の主な事業です。

## (1) 新規事業

事業名	説明
アフタースクール 学習支援事業	中学生を対象に、放課後の時間等を活用した学習支援の場を設けます。 ※講師は、主に教員OBなどの地域の方 平成27、28年度は試行、平成29年度から本格実施します。
セカンドライフ 農業体験事業	シニア世代を対象に、永年楽しめる趣味づくり、仲間づくり、健康づくりのきっかけの場として、また、地域参加を推進するため、家庭菜園等で活用できる農業体験を実施します。
(仮称) 国際青少年センター 整備事業	老朽化した新潟市大畑少年センターを旧二葉中学校へ移転し、青少年の国際交流も視野に入れた、(仮称)国際青少年センターとして改修し整備します。

(2) その他の主要な事業

事業名	説明
ふれあいスクール事業	<p>○ふれあいスクール</p> <p>子どもの健全育成と地域の教育力向上のため、小学校の余裕教室や体育館を活用し、地域の協力のもと、平日の放課後や土曜日の午前中などに子どもたちに安心安全な居場所を提供し、異年齢交流や地域の大人との交流を図ります。</p> <p>平成27年度は、新規校2校を含め67校で実施します。また、土曜日の内容をこれまで以上に充実させるため、外部講師等を活用した教育プログラムを数校でモデル的に行います。</p> <p>○公民館出前型</p> <p>公民館が、学校の特別教室などで出前事業を実施します。学校を拠点に活動する自主サークルを育成し、学校と連携しながら地域全体で子どもを見守る体制づくりを推進します。</p>



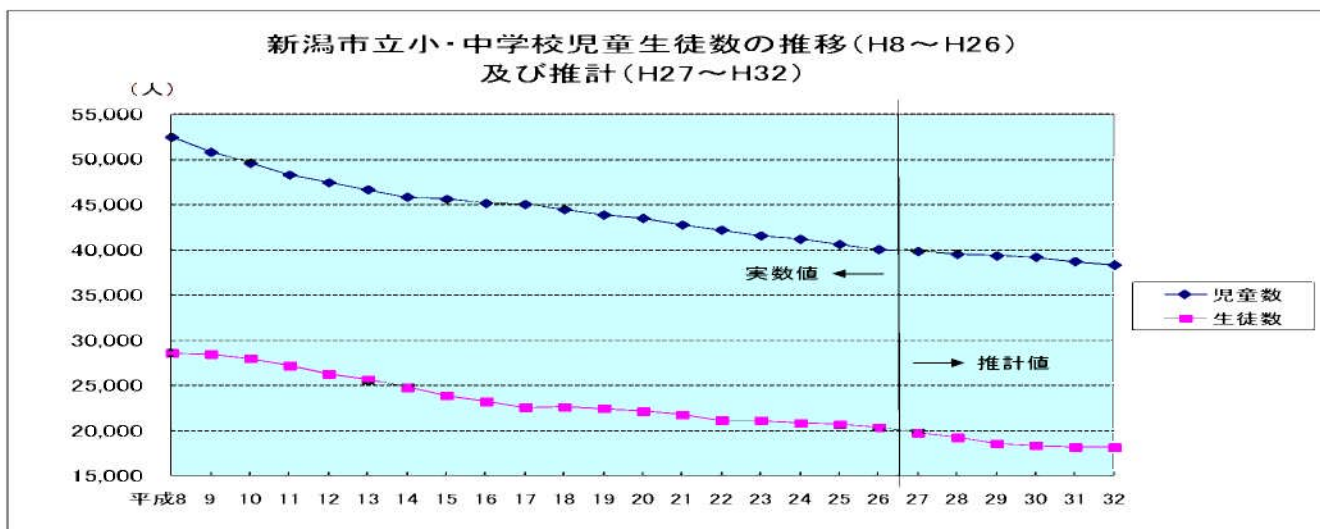
## 2 学校適正配置

### 学校適正配置の必要性

本市の児童生徒数は長期間に渡り減少を続けており、この傾向は今後も継続すると見込まれています。子どもたちのための教育効果の向上と教育環境の整備を図るうえで、学校の適正配置が大きな課題となっています。

(1) 児童・生徒の減少 S59年(過去のピーク) H26年

新潟市全体 約106,000人 ⇒ 約60,000人 約4万6千人(約43%)減少



(2) 在籍児童・生徒数と未就学児童数に基づく、平成32年度までの推計は下記のとおりです

(参考1) 通常学級 児童・生徒数推計 平成26年度推計(平成26年5月1日現在)

		平成26年度人 (A)	平成32年度人 (B)	増減(B-A)人	増減率
南区	小学校	2,126	2,177	51	2.4
	中学校	1,151	1,032	△119	△10.3
	計	3,277	3,209	△68	△2.1
新潟市 全体	小学校	39,200	38,826	△374	△1.0
	中学校	19,976	19,375	△601	△3.0
	計	59,176	58,201	△975	△1.6

(3) 小規模校（適正規模に満たない）の状況

小学校 113校のうち 57校（約50%）

中学校 56校のうち 18校（約32%）

新潟市が考える適正規模とは  
 小学校 12学級以上，24学級以下（各学年2～4学級）  
 中学校 9学級以上，18学級以下（各学年3～6学級）  
 適正規模に達しない学級数の学校を「小規模校」とし，適正規模を超える学級数の学校を「大規模校」としています。

(参考2) 学級別一覧（平成26年5月1日現在）

	小学校			中学校	
	南区	新潟市全体		南区	新潟市全体
25学級以上		8	19学級以上		4
12～24学級	2	48	9～18学級	2	34
11学級以下	9	57	8学級以下	4	18
計	11	113	計	6	56

(4) 学年別児童生徒・学級数推計について（表は次ページ）

※平成26年5月1日現在の数値で推計してあります。

①推計の方法

・児童生徒数の将来推計は，基準日に住民登録のある未就学児，児童，生徒数を各学校の通学区域ごとに調べて，その人数が次年度以降もそのまま新学年に進むものとして，6年間の児童生徒数及び学級数を求めたものです。

・特別支援学級，中等教育学校，特別支援学校，国立・私立の小中学校へ進学する通学区域ごとの児童生徒数は，予測できないため調整していません。（平成26年度の数値は，特別支援学級，中等教育学校，特別支援学校，国立・私立の小中学校に在籍する児童生徒数は含んでいません。）

②学級編成について

新潟市の小中学校の学級編成は，国の標準をもとに新潟県が設定した1学級の児童生徒数で行っています。



南区 学年別児童生徒・学級数推計(H27～H32)

※平成27年度以降の推計各年度学級数については、県の少人数学級パイロット事業の拡充が継続するものとして算出しています。

○新飯田小・茨曾根小・庄瀬小／白南中

校名	学年	実数値		推計値											
		平成26年度		27		28		29		30		31		32	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
新飯田	1	13	1	17	1	15	1	17	1	15	1	28	1	10	1
	2	14	1	13	1	17	1	15	1	17	1	15	1	28	1
	3	13	1	14	1	13	1	17	1	15	1	17	1	15	1
	4	17	1	13	1	14	1	13	1	17	1	15	1	17	1
	5	11	1	17	1	13	1	14	1	13	1	17	1	15	1
	6	17	1	11	1	17	1	13	1	14	1	13	1	17	1
	計	85	6	85	6	89	6	89	6	91	6	105	6	102	6
茨曾根	1	9	1	15	1	6	1	16	1	8	1	11	1	14	1
	2	15	1	9	1	15	1	6	1	16	1	8	1	11	1
	3	23	1	15	1	9	1	15	1	6	1	16	1	8	1
	4	16	1	23	1	15	1	9	1	15	1	6	1	16	1
	5	20	1	16	1	23	1	15	1	9	1	15	1	6	1
	6	9	1	20	1	16	1	23	1	15	1	9	1	15	1
	計	92	6	98	6	84	6	84	6	69	6	65	6	70	6
庄瀬	1	17	1	18	1	13	1	13	1	16	1	15	1	9	1
	2	17	1	17	1	18	1	13	1	13	1	16	1	15	1
	3	17	1	17	1	17	1	18	1	13	1	13	1	16	1
	4	15	1	17	1	17	1	17	1	18	1	13	1	13	1
	5	15	1	15	1	17	1	17	1	17	1	18	1	13	1
	6	12	1	15	1	15	1	17	1	17	1	17	1	18	1
	計	93	6	99	6	97	6	95	6	94	6	92	6	84	6
白南中	1	39	1	38	1	46	2	48	2	53	2	46	2	39	1
	2	35	1	39	1	38	1	46	2	48	2	53	2	46	2
	3	37	1	35	1	39	1	38	1	46	2	48	2	53	2
	計	111	3	112	3	123	4	132	5	147	6	147	6	138	5

○小林小・白根小／白根第一中

校名	学年	実数値		推計値											
		平成26年度		27		28		29		30		31		32	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
小林小	1	27	1	37	2	31	1	37	2	22	1	24	1	32	1
	2	24	1	27	1	37	2	31	1	37	2	22	1	24	1
	3	34	1	24	1	27	1	37	1	31	1	37	1	22	1
	4	31	1	34	1	24	1	27	1	37	1	31	1	37	1
	5	29	1	31	1	34	1	24	1	27	1	37	1	31	1
	6	26	1	29	1	31	1	34	1	24	1	27	1	37	1
	計	171	6	182	7	184	7	190	7	178	7	178	6	183	6
白根小	1	81	3	66	3	83	3	74	3	87	3	84	3	83	3
	2	75	3	81	3	66	3	83	3	74	3	87	3	84	3
	3	78	3	75	3	81	3	66	2	83	3	74	2	87	3
	4	93	3	78	3	75	3	81	3	66	2	83	3	74	2
	5	86	3	93	3	78	3	75	3	81	3	66	2	83	3
	6	93	3	86	3	93	3	78	3	75	3	81	3	66	2
	計	506	18	479	18	476	18	457	17	466	17	475	16	477	16
白根第一中	1	138	4	119	4	115	4	124	4	112	4	99	3	108	4
	2	121	4	138	4	119	4	115	4	124	4	112	4	99	3
	3	156	4	121	4	138	4	119	4	115	4	124	4	112	4
	計	415	12	378	12	372	12	358	12	351	12	335	11	319	11

○臼井小／臼井中

実数値			→ 推計値													
校名	学年	平成26年度		27		28		29		30		31		32		
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
臼井	1	18	1	25	1	21	1	26	1	14	1	28	1	21	1	
	2	32	1	18	1	25	1	21	1	26	1	14	1	28	1	
	3	22	1	32	1	18	1	25	1	21	1	26	1	14	1	
	4	22	1	22	1	32	1	18	1	25	1	21	1	26	1	
	5	26	1	22	1	22	1	32	1	18	1	25	1	21	1	
	6	34	1	26	1	22	1	22	1	32	1	18	1	25	1	
計		154	6	145	6	140	6	144	6	136	6	132	6	135	6	
臼井中	1	33	1	34	1	26	1	22	1	22	1	32	1	18	1	
	2	28	1	33	1	34	1	26	1	22	1	22	1	32	1	
	3	18	1	28	1	33	1	34	1	26	1	22	1	22	1	
	計		79	3	95	3	93	3	82	3	70	3	76	3	72	3

○大鷲小・根岸小・大通小／白根北中

実数値			→ 推計値												
校名	学年	平成26年度		27		28		29		30		31		32	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
大鷲	1	10	1	24	1	12	1	17	1	14	1	13	1	11	1
	2	16	1	10	1	24	1	12	1	17	1	14	1	13	1
	3	8	1	16	1	10	1	24	1	12	1	17	1	14	1
	4	18	1	8	1	16	1	10	1	24	1	12	1	17	1
	5	21	1	18	1	8	1	16	1	10	1	24	1	12	1
	6	29	1	21	1	18	1	8	1	16	1	10	1	24	1
計		102	6	97	6	88	6	87	6	93	6	90	6	91	6
根岸	1	26	1	27	1	29	1	26	1	36	2	30	1	30	1
	2	31	1	26	1	27	1	29	1	26	1	36	2	30	1
	3	27	1	31	1	26	1	27	1	29	1	26	1	36	1
	4	24	1	27	1	31	1	26	1	27	1	29	1	26	1
	5	27	1	24	1	27	1	31	1	26	1	27	1	29	1
	6	28	1	27	1	24	1	27	1	31	1	26	1	27	1
計		163	6	162	6	164	6	166	6	175	7	174	7	178	6
大通	1	83	3	85	3	76	3	72	3	84	3	53	2	64	2
	2	60	2	83	3	85	3	76	3	72	3	84	3	53	2
	3	74	3	60	2	83	3	85	3	76	3	72	2	84	3
	4	66	2	74	2	60	2	83	3	85	3	76	3	72	2
	5	82	3	66	2	74	2	60	2	83	3	85	3	76	3
	6	63	2	82	3	66	2	74	2	60	2	83	3	85	3
計		428	15	450	15	444	15	450	16	460	17	453	16	434	15
白根北中	1	122	4	120	4	130	4	108	4	109	4	107	4	119	4
	2	125	4	122	4	120	4	130	4	108	4	109	4	107	4
	3	127	4	125	4	122	4	120	4	130	4	108	4	109	4
	計		374	12	367	12	372	12	358	12	347	12	324	12	335

### ○味方小／味方中

実数値			→ 推計値												
校名	学年	平成26年度		27		28		29		30		31		32	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
味方	1	16	1	35	2	43	2	44	2	39	2	38	2	35	2
	2	38	2	16	1	35	2	43	2	44	2	39	2	38	2
	3	30	1	38	1	16	1	35	1	43	2	44	2	39	1
	4	25	1	30	1	38	1	16	1	35	1	43	2	44	2
	5	27	1	25	1	30	1	38	1	16	1	35	1	43	2
	6	27	1	27	1	25	1	30	1	38	1	16	1	35	1
	計	163	7	171	7	187	8	206	8	215	9	215	10	234	10
校名	学年	平成26年度		27		28		29		30		31		32	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
味方	1	30	1	27	1	27	1	25	1	30	1	38	1	16	1
	2	34	1	30	1	27	1	27	1	25	1	30	1	38	1
	3	22	1	34	1	30	1	27	1	27	1	25	1	30	1
	計	86	3	91	3	84	3	79	3	82	3	93	3	84	3

### ○月潟小／月潟中

実数値			→ 推計値												
校名	学年	平成26年度		27		28		29		30		31		32	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
月潟	1	26	1	37	2	35	2	28	1	26	1	36	2	27	1
	2	32	1	26	1	37	2	35	2	28	1	26	1	36	2
	3	26	1	32	1	26	1	37	1	35	1	28	1	26	1
	4	25	1	26	1	32	1	26	1	37	1	35	1	28	1
	5	29	1	25	1	26	1	32	1	26	1	37	1	35	1
	6	31	1	29	1	25	1	26	1	32	1	26	1	37	1
	計	169	6	175	7	181	8	184	7	184	6	188	7	189	7
校名	学年	平成26年度		27		28		29		30		31		32	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
月潟	1	24	1	31	1	29	1	25	1	26	1	32	1	26	1
	2	32	1	24	1	31	1	29	1	25	1	26	1	32	1
	3	30	1	32	1	24	1	31	1	29	1	25	1	26	1
	計	86	3	87	3	84	3	85	3	80	3	83	3	84	3

### 3 新潟市奨学金制度・新潟市社会人奨学金制度

修学のために経済的な支援が必要な方及びスキルアップや再就職を目指して修学を希望する社会人に対し、奨学金の貸付けを行っています。

返還にあたっては、大学、大学院の奨学生が卒業後、新潟市に住所を有し、前年度に新潟市に市民税を納付している場合、返還額の一部を免除する返還特別免除制度を設けています。

		新潟市奨学金制度	社会人奨学金制度
対象者		(1) 本人又は本人の保護者が市内に住所を有する人 (2) 主として家計を支える人1人（大学院は本人）の所得が市の定める所得基準以下である人 (3) 市が定める学力基準に該当する人 例) 高校1年生は中学平均3.0以上 大学1年生は高校平均3.5以上  ※ 高等学校等については、授業料負担がある場合のみ対象	(1) 本人が市内に住所を有し、通学する人 (2) 申込時に、現在在学している学校に入学する前の学校を卒業してから1年以上経過している人（4/1現在） (3) 満23歳以上で、満50歳までに修学期間が終了する人 (4) 市が定める所得基準以下の人 (5) 課題作文が優れている人  ※ 勤務先から補助が出ている場合など、本人が学費を負担していない場合は対象外
貸付額	・高等学校等	年額 200,000 円	—
	・専門学校 ・短大 ・大学 ・大学院	年額 400,000 円	年額 200,000 円 300,000 円 400,000 円 から選択
募集時期	6月中旬～7月中旬 ※在学採用のみ（予約採用なし）		
貸付方法	年2回（4月と9月）に分けて貸付 ※採用初年度は1年分を9月に貸付		
貸付期間	正規の最短修学期間 ※ 複数の校種で利用可（最長通算9年）	正規の最短修学期間 ※ 社会人奨学金制度の利用は1回のみ	
利子	無利子		
他の奨学金との併給	併給可 ※新潟市奨学金と新潟市社会人奨学金の併給は不可		
返還方法	・ 8か月据置、半年賦（7月と12月） ・ 貸付総額により返還回数、1回あたりの返還額を決定（返還表を規定） ・ 最長返還期間は20年 例) 貸付総額800,000円の場合 40,000円/回、20回払い	・ 8か月据置、半年賦（7月と12月） ・ 貸付総額により返還回数、1回あたりの返還額を決定（返還表を規定） ・ 最長返還期間は10年。希望により期間を短縮できる。 例) 貸付総額800,000円の場合 通常：40,000円/回、20回払い 短縮：80,000円/回、10回払い	
遅延損害金	年5%		
保証人	連帯保証人1名（4親等以内の成人親族等）		
返還特別免除 ※裏面参照	<b>【大学、大学院のみが対象】</b> 新潟市に住所を有し、前年度に新潟市に市民税を納付している場合、申請により返還額の一部を免除する。（限度額4万円/回、返還開始後7年以内で5回まで）	なし	

## 新潟市奨学金の返還特別免除について

大学、大学院の奨学生が卒業後、以下のいずれにも該当する場合、申請により返還額の一部を免除する制度があります。

- 【対象者】 ① 新潟市に住所を有している者  
 ② 前年度に新潟市に市民税を納付している者  
 ③ この奨学金の返還を怠ったことがない者
- 【免除額】 前年度に納付した新潟市の市民税額の1/2相当額（限度額4万円）  
 ※ 年1回、12月の返還額から減額
- 【免除期間】 返還開始後7年を超えない範囲内で、免除回数は5回まで

年度	返還1年目		返還2年目		返還3年目		返還4年目		返還5年目		返還6年目		返還7年目		返還8年目	
返還月	7	12	7	12	7	12	7	12	7	12	7	12	7	12	7	12
住所地	卒業 新潟市		新潟市		新潟市		新潟市		新潟市		新潟市		新潟市		新潟市	
市民税納税先			新潟市		新潟市		新潟市		新潟市		新潟市		新潟市		新潟市	
返還回	1		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
特別免除							免除(1回目)				免除(2回目)				免除(3回目)	
											免除(4回目)				免除(5回目)	

## 4 健康づくり・食育の推進

### (1) 健康づくりの推進

子どもたちが自らの健康に関心をもち、健康の増進・病気の予防など、健やかに生きるための主体的な健康づくりを推進します。

子どもの頃から望ましい生活習慣を築くことにより、生活習慣病を予防するなど、健康教育の一層の充実を図ります。

#### 児童生徒の生活習慣病予防対策

- ・生活習慣病予防パンフレットを作成し、健康教育に活用
- ・小4、中1の希望者に血液検査などの健診を実施

肥満傾向の児童生徒の割合はやや減少傾向にありますが、痩身傾向の児童生徒の割合はやや増加傾向にあります。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
肥満傾向の児童生徒の割合 (%)	7.53	7.56	7.06	6.90	7.01	6.82

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
痩身傾向の児童生徒の割合 (%)	1.91	1.91	2.03	2.09	2.16	2.15

#### 児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策

- ・むし歯予防教室、歯肉炎予防教室の開催
- ・フッ化物洗口の実施

中学1年生一人平均のむし歯本数は、着実に減少しています。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
中学1年生一人平均う歯(むし歯)数(本)	0.94	0.90	0.80	0.71	0.64	0.56



## (2) 食育の推進

子どもたちが、バランスのよい食事や正しい食事マナー、食べ物の大切さなどを理解し、望ましい食習慣を身に付けられるよう、家庭と連携した食に関する指導を推進します。

学校給食については、地産地消を推進し、学校給食の一層の充実を図ります。

### 食に関する指導推進

- ・ 栄養士が未配置の学校に一般市民の栄養士資格保有者を食育指導者として派遣
- ・ 学校給食に関する研究を行う「研究推進校」を指定

### 学校と家庭との連携強化

- ・ 中学校区単位で、地域住民や保護者を招いて食育ミニフォーラムを開催

児童生徒の朝食欠食率は減少傾向にあったものの現在はほぼ横ばいに推移しています。給食の残食量は着実に減少しています。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
児童生徒の朝食欠食率 (%)	3.4	3.0	1.1	1.2	1.5	1.4

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
給食の残食量の減少 (%)	4.0	5.0	3.7	4.2	3.3	2.8

### 学校給食の充実事業

- ・ ご飯を基本とし、地域の食材を使った栄養バランスの良い日本型の食事を推進

地場農林水産物の使用率はほぼ横ばいに推移しています。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
地場農林水産物の使用率 (%)	15.4	14.7	15.5	15.8	15.5	15.5 (見込)



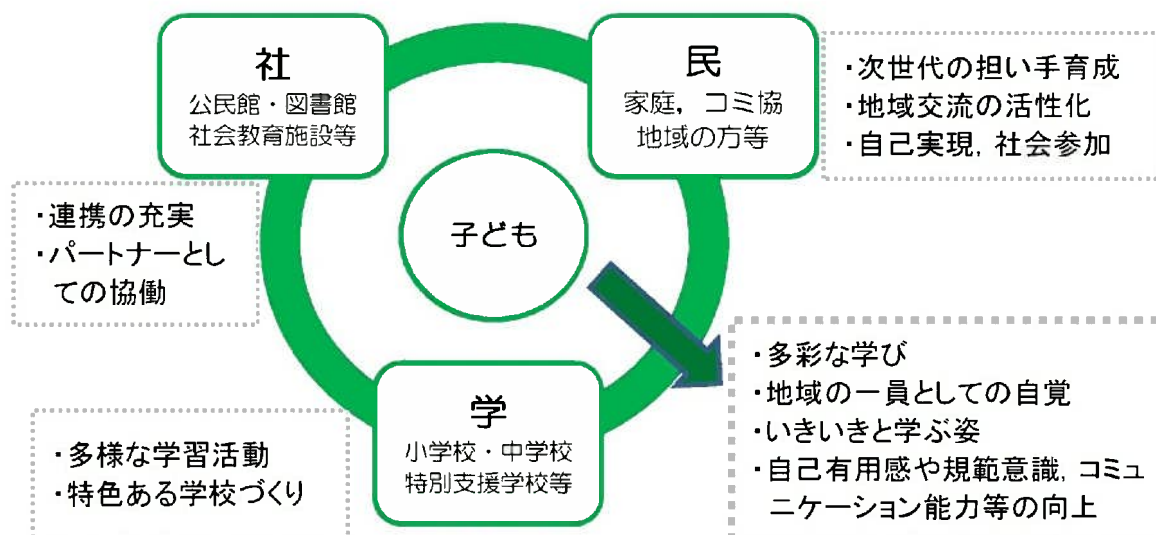
## 5 地域に開かれた教育の推進

平成 27 年 4 月 1 日から、組織改正により、生涯学習課の企画部門を生涯学習センターに一元化し、生涯学習課青少年・地域と学校連携室が、地域教育推進課に変わりました。今後も若者支援や、地域と学校の連携による地域に開かれた学校づくりを推進します。

以下は地域教育推進課の主な事業です。

### (1) 地域と学校パートナーシップ事業

「学・社・民の融合による教育」を推進するため、学校が地域に開かれ、地域と共に歩むことができるように地域教育コーディネーターを配置し、市立すべての義務教育学校で本事業を実施しています。



### (2) 地域と学校ドリームプロジェクト支援事業

「地域とともに歩む学校づくり」をさらに進め、学校が特色ある取組の継続や新たな取組の開発に積極的に着手できるようにするとともに、先進的な取組が全校に広がるよう支援します。

### (3) ふれあいスクール事業

週に 1～3 回、平日の放課後や土曜日の午前中に学校施設を利用して、安全な居場所を提供するとともに、異年齢、地域の大人との交流を図ります。平成 27 年度は 67 の小学校で実施します。

(4) 学校開放事業

学校教育に支障のない範囲で、平日の夜間や土・日に学校の施設を市民に開放することによって、市民の体育、文化及び地域活動の普及推進並びに児童生徒の健全育成を図ります。市立の全小・中学校、東特別支援学校、明鏡高等学校で実施。利用団体は、学校施設使用料を負担します。

(5) 街頭育成活動

青少年非行の未然防止と青少年の健全育成を図るため、新潟市青少年育成員による新潟駅や万代周辺での声かけ活動を実施します。

※第13期青少年育成員（H27.4.1～H29.3.31）32名

(6) 若者支援事業

困難を抱えた若者の自立や社会参加およびあらゆる若者の健やかな成長を支援するため、若者支援センターにおいて相談事業、支援事業、居場所事業を行います。

また、複合的な困難を抱えた若者の問題解決のため、若者支援協議会を運営し、協働の支援を行います。

## 6 公民館の重点的な取組

公民館では、多様なニーズやライフスタイルに応じた学習機会の充実のため、あらゆる世代の方が生涯を通じて学ぶことのできる場を提供し、地域の絆づくりと活力あるコミュニティの形成を支えます。

以下は公民館で実施する主な事業です。

### 1 豊かな心と健やかな体の育成

#### ●青少年の居場所づくり

##### ・青少年の居場所づくり事業

地域で子どもを見守り育てるために、公民館に学校や家庭以外の「空間」を設け、地域の大人と子どもがふれあい、共感し合える場を提供します。

### 2 家庭教育の充実と子育て支援

#### ●家庭教育充実の支援

##### ・家庭教育振興事業【プレママ学級、家庭教育学級、孫育て講座】

学校や公民館を会場に、子どもが生まれる前の母親や父親を対象としたプレママ学級をはじめ、乳児期から思春期までの子供の成長期に合わせて、子育てに関する知識や情報、親としてのかかわりなど家庭教育に関する講座を開催します。併せて、祖父母世代を対象とした孫育て講座を実施します。

### 3 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

#### ●地域における生涯学習活動への支援

##### ・地域コミュニティ活動活性化支援事業

超高齢・少子化への対応や、学社民融合の考え方に基づいて、地域の教育力向上に資する事業や地域人材育成に重点をおいた取組を進めるなど、学校や地域団体等と連携して地域課題解決を図ります。併せて、地域のつなぎ役となるコミュニティコーディネーターの育成講座を実施します。

●アクティブシニアへの支援

・セカンドライフ農業体験事業

主に退職後のシニア世代を対象に、家庭菜園等で活用できる農業体験を実施することにより、永年楽しめる趣味づくり、仲間づくり、健康づくりのきっかけの場とし、元気な高齢者の地域参加へつなげます。また、農業体験を通して消費者と生産者が交流することで、農業と地域魅力への理解をより深めていただく事業です。

4 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり

●地域とともに歩む学校づくりの推進

・ふれあいスクール事業（公民館出前型）

学校を会場に、地域の大人向けに公民館事業を実施することにより、学校に親しみを持ち、学校と連携しながら地域全体で子どもを見守る体制づくりを推進します。

## 7 図書館の重点的な取組

～新潟市では子どもの読書活動を推進しています～

### (1) 第二次新潟市子ども読書活動推進計画（概要版）

新潟市では、全ての子どもたちが本に親しみ読書習慣を身に付けることを願って、平成22年度から「新潟市子ども読書活動推進計画」により、子どもの読書環境づくりを進めてきました。

この度、これまでの取組の成果と課題を整理して、今年度から平成31年度までの5年間の第二次計画を策定しました。この概要版には、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域の4つの場での主な取組を掲載してあります。

子どもと本を結ぶためには、周囲の大人の力が必要です。

読み聞かせやブックスタートボランティアをはじめ、地域の皆さんと一緒にこの計画に取り組んでいきたいと考えております。

### (2) 新潟市の学校図書館は日本一！を目指します

このチラシは、新潟市の学校図書館の状況を広く関係者にアピールし、一層活用が進むことを目指して作成しました。

学校は、生涯にわたる読書習慣を身に付ける大切な場所です。

新潟市は、学校司書の全校配置、蔵書管理システムの導入、蔵書の充実、学校図書館支援センターによる支援など、学校図書館の充実に力を入れてきました。

平成27年度からは、順次、全小中学校を「学校図書館活用推進校」に指定し、学校図書館を活用した授業や読書活動をさらに進めます。



概要版



# 読書が育む 子どもの未来

第二次新潟市子ども読書活動推進計画

平成27～31年度

新潟市



# 第二次新潟市子ども読

## 豊かな「子どもの読書環境」づくりのために

第一次計画(H22～26年度)では、新潟市の全ての子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けることを願い、子どもにかかわる人や機関が連携して、子どもの読書環境づくりを進めてきました。

第二次計画は、第一次計画の基本的な考え方を継承するとともに、成果と課題を整理し、さらなる取組の拡大や充実を目指して策定しました。



## 読書活動推進の主な取組

★  
新規事業

◎  
重点事業

～絵本で子育て、家庭に本を～

## 家庭

赤ちゃんのころから、親と子がともに本に親しむことができるよう読書環境を整えていきます。



### 保護者への働きかけの推進

- 読み聞かせや読書への理解を深めるための講座開催や情報提供
- 家庭での読書の習慣化を図るため、「うちどく(家読)<sup>※1</sup>」を推進 ★◎

### ブックスタート事業の充実

- 出産前後やブックスタート後の保護者を対象とした講座開催や情報提供

### 子育て世代が利用しやすい図書館づくり

- 「赤ちゃんタイム<sup>※2</sup>」実施館を拡大 ◎

～学校図書館をパワーアップ～

## 学校

学校全体での図書館活用を進めるため、「学習・情報センター」機能の向上を目指します。



### 学校図書館活用の拡大

- 活用推進校を指定し、計画的に学校図書館を活用した授業事例を収集、紹介 ★◎

### 教職員研修の充実

- 学校図書館の活用に必要な教員と学校司書の連携をさらに充実させるための研修を開催

### 特別支援学校の読書環境の整備

- 特別支援学校における読書活動への支援の在り方や読書環境整備に向けた検討会を設置し、検討に基づいた学校図書館の整備 ★◎

### 学校図書館支援センターによる支援

- 学校図書館訪問や業務相談、図書館からの資料提供などを通して学校図書館を組織的に支援

連  
協

※1 うちどく(家読)：学校での「朝の読書=朝読(あさどく)」の家庭版として全国で広がっている。家族で一緒に本を読んだり、感想を話し合ったりするもの。家族  
※2 赤ちゃんタイム：赤ちゃん連れの利用者が図書館でゆっくりと過ごすことができるよう、曜日や時間を決めて来館を呼びかけるもの。一般の利用者にも子ども連れ



# 書活動推進計画【概要】

3つの要素が一体となって、豊かな「子どもの読書環境」づくりを進めていきます。

## 人

子どもと本をつなぐ「人」がいる。

## 本

子どもたちの身近に「本」がある。

## 場所と時間

本を楽しむための「場所と時間」がある。

### ◆ 第一次計画期間の主な成果 ◆

- 1 ブックスタート事業の開始、学校図書館の充実など、さまざまな場面で子どもの読書環境の整備に努め、読書活動を進めました。
- 2 取組を進める中で、ボランティア活動など市民との協働が進み、市役所内関係課・機関の連携が深まりました。

### ◆ 計画推進のための体制 ◆

市役所内の関係する17課・機関による「推進会議」と、その部会として10課・機関による「学校図書館関係課・機関連絡会議」を設置し、連携して取組を進めていきます。

～園児に絵本の楽しさを～

## 保育園・幼稚園

全ての保育園・幼稚園で、園児と保護者に絵本の楽しさを伝えられるよう支援します。



### 保育園・幼稚園への支援

- 保護者を対象に、園で開催される絵本講座のための情報提供や講師派遣などの協力 ★
  - 園における読書活動の取組事例の収集と情報提供 ★
- ### 職員研修の充実
- 絵本や読み聞かせについての研修に関する情報提供や講師派遣などの支援

～みんなで取り組み、みんなで楽しむ～

## 地域

市民と協働し、さまざまな場所で子どもと本を結ぶ取組を行っています。



### <図書館>

#### 子どもと本を結ぶ事業の実施

- 親子で参加する読み聞かせ会などの事業を実施 ◎

#### ボランティアとの連携・支援

- ボランティア養成やステップアップのための講座を開催
- 共催事業の拡大

#### 地域の書店・企業や民間団体・施設等との連携・協力

- 読書活動関連事業の協働実施や情報共有の推進 ★

### <公民館・地域子育て支援センター等>

#### 事業の充実

- 読み聞かせなどの事業や保護者向け講座の実施

#### ボランティア活動の推進

- 各施設でのニーズに合わせた読み聞かせなどボランティア活動の拡大

携  
力



# 子どもと本を結んで

## 第一次計画の取組事例から

### ブックスタート

★保護者の声

おうちでも読もうね!



★ボランティアの声

赤ちゃんにパワーをもらって、  
元気になります。

1歳誕生歯科健診の会場で、年間およそ  
6,000人の赤ちゃんとその保護者を対象に行  
い、参加者の割合は毎年9割を超えています。

年間延べ900人にのぼる地域のボランティア  
によって支えられています。

### 学校図書館



★子どもの声

百科事典などの資料を使って、  
調べています。

全ての市立小・中学校で、学校図書館の基  
盤整備を進めました。

学校図書館を活用した授業や活動が進み、  
児童・生徒が読書に親しむ機会が増えました。

市立図書館4館にある学校図書館支援セン  
ターが支援を行っています。

## 第二次新潟市子ども読書活動推進計画（平成27～31年度）

平成27年3月

編集・発行 ほんぽーと新潟市立中央図書館

〒950-0084 新潟市中央区明石 2-1-10

電話：025-246-7700

FAX：025-246-7722

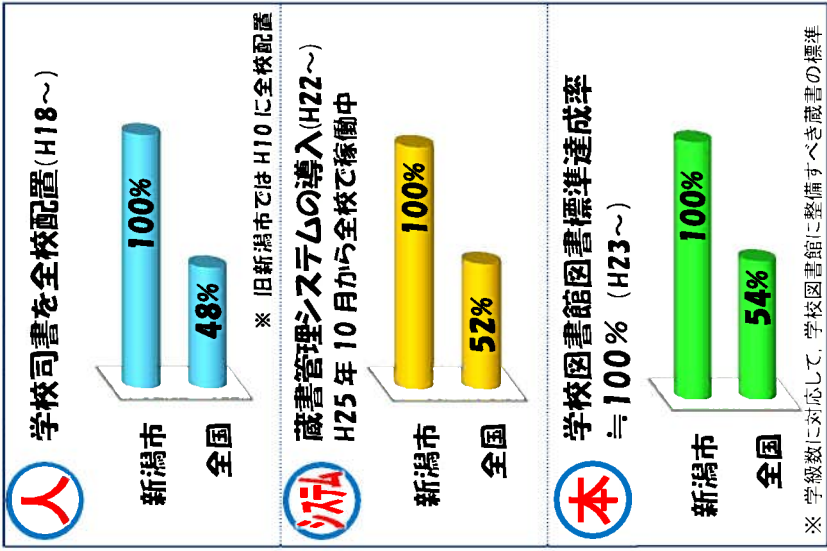
<http://www.niigatacitylib.jp>





# 「新潟市の学校図書館は日本一」を目指しています！

## 1 環境の整備



## 新潟市の児童生徒一人当たり年間貸出冊数

	H16	H25	増加分
小学校	55.2	101.3	+46.1
中学校	6.9	11.0	+4.1

## 2 学校図書館支援センターの取り組み



## 3 学校図書館機能の充実

- 新鮮・適切な蔵書整備
- 居心地よく・使いやすい環境づくり
- 学校司書のスキルアップ
- 「学校図書館実務マニュアル」の活用
- ボランティアとの連携・協働
- 読書活動の活性化

## 4 「読書センター」「学習・情報センター」機能のさらなる発展

- 学校全体で運営する学校図書館  
○ 教員と学校司書が協働する, 学校図書館を活用した授業づくり
- 学校図書館を活用した授業や読書活動の事例収集と発信  
＜学校図書館活用推進校の指定(H27～)＞
- 学校図書館の活用を促すための研修の充実
- 市立図書館からの資料提供の強化

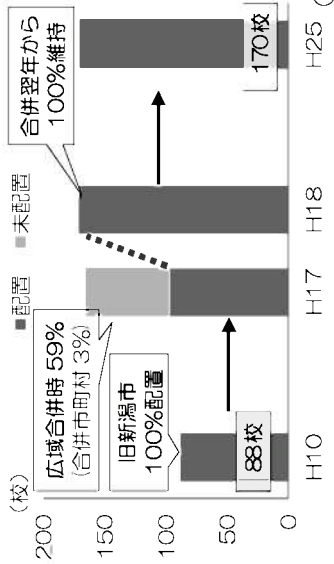
教育委員会関係9課・機関が連携し、支援

教育総務課, 学務課, 施設課, 教職員課, 総合教育センター,  
学校支援課, 地域教育推進課, 公民館, 図書館

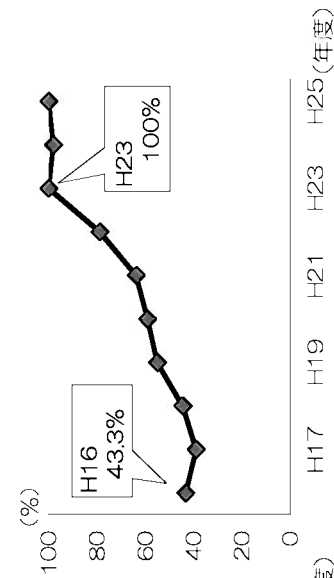


# ココが知りたい！新潟市の学校図書館 (小・中学校)

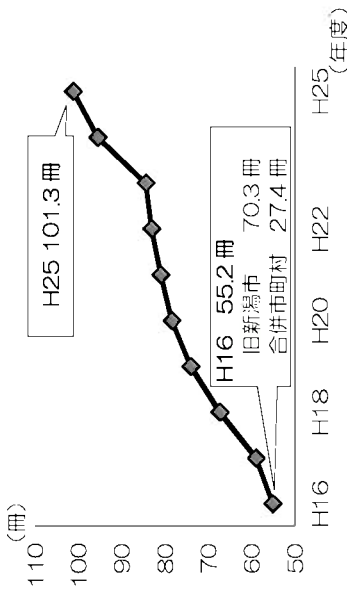
学校司書の配置率



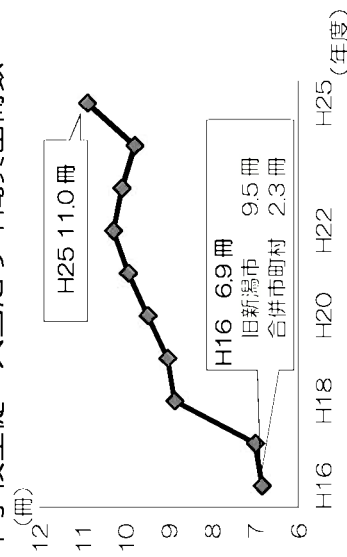
学校図書館図書標準達成率



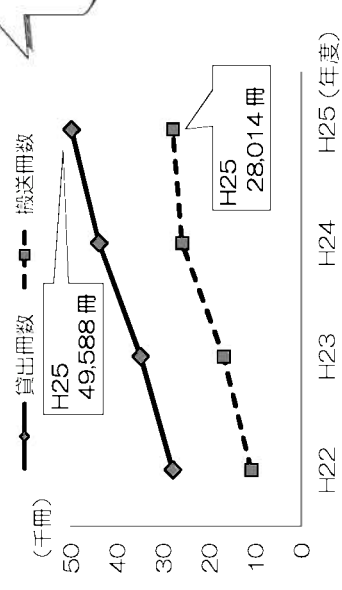
小学校児童一人当たりの年間貸出冊数



中学校生徒一人当たりの年間貸出冊数



市立図書館からの団体貸出冊数と搬送冊数



図書・雑誌・紙芝居など 150 冊まで、貸出日の翌日から 31 日間借りられます。必要に応じて、宅配便で配達・回収をしています。

学校貸出セット【オレンジBOX】 もあります！

調べ学習や読書活動に役立つ資料をテーマごとに、セットで貸出 (H24 年 7 月開始) 総合学習セット・国語学習セット・読書セット  
H25 貸出依頼件数 173 件 (一部を通常資料で対応)

## ◎ 学校司書の役割 (参考：全国学校図書館協議会ホームページ)

平成 26 年 6 月に学校図書館法が一部改正され、学校司書が法制化されました。学校司書は、司書教諭や図書館主任とともに学校図書館を管理運営し、主に学校図書館サービスと実務面 (資料の管理、提供、紹介、広報、環境整備等) を担当します。

学校図書館を活用する学習活動が円滑に行われるように教員や児童・生徒への支援も行います。

## 学校司書 10 の基本

- 1 学校の教育活動を知る
- 2 図書館主任などの協働と情報提供
- 3 図書館の管理
- 4 児童・生徒の理解
- 5 読書活動への支援
- 6 教科学習への支援
- 7 広報活動
- 8 図書委員活動
- 9 図書館ボランティアとの連携
- 10 市立図書館との連携

『新潟市学校図書館実務マニュアル』  
平成 25 年 3 月発行 より

## 教員と学校司書の合同研修

- 「学校図書館活用研修」 H22～25：各区で順次開催  
延べ 183 人が参加
- 「教諭と司書連携研修」 H23：西・西浦区対象に開催  
H24・25：全市対象に開催  
延べ 347 人が参加



H26

総合教育センター主管

授業力向上研修「教諭と司書連携充実」講座

「授業づくり編」140 人参加 (管理職 3・教員 60・学校司書 77)

「読書活動編」80 人参加 (管理職 2・教員 34・学校司書 44)